

道路維持管理要領

(点 検)

令和7年度
仙台松島道路

 宮城県道路公社

総 目 次

I 点検一般	1
1. 適用	2
2. 点検の目的	2
3. 点検の種別	2
4. 点検の頻度	2
5. 点検計画書の作成	2
6. 点検の対象構造物、項目	3
7. 判定の標準	3
8. 写真の撮影と整理	3
9. 点検結果の報告	3
10. 処置方針について	4
11. 対象構造物・点検項目 (表-1)	5
II 項目別判定の標準	6
1. 路面	
1- (1) 舗装	7
1- (2) 伸縮装置	9
1- (3) 縁石	10
2. のり面	
2- (1) 植生のり面	11
2- (2) 特殊のり面	12
2- (3) メーソシリー	14
2- (4) コンクリート擁壁	15
3. 排水施設	
3- (1) 路面排水施設	17
3- (2) のり面排水施設	18
3- (3) 橋梁排水施設	19
3- (4) 側道・道路隣接地域排水施設	20
4. 橋梁	
4- (1) コンクリート構造物 (上部工)	21
4- (2) コンクリート構造物 (下部工)	23
4- (3) 鋼構造物	24
4- (4) 鋼橋床版	25
4- (5) 塗装	26
4- (6) 支承	27
4- (7) 高欄・地覆	28
5. カルバート	29
6. 交通安全施設	31
7. 交通管理施設	33
8. その他の施設	34
《付録》	35
1. 年間点検工程計画書	様式-1 36
2. 年間総括調書	様式-2 37
3. 点検月間調書	様式-3 38
4. 点検報告書 (その1)	様式-4 39
5. 点検報告書 (その2)	様式-5 41

I 点検一般

1. 適用	2
2. 点検の目的	2
3. 点検の種別	2
4. 点検の頻度	2
5. 点検計画書の作成	2
6. 点検の対象構造物、項目	3
7. 判定の標準	3
8. 写真の撮影と整理	3
9. 点検結果の報告	3
10. 処置方針について	4
11. 対象構造物・点検項目 (表－1)	5

1. 適用

本手引きは、宮城県道路公社が管理する道路の点検業務に適用するものである。

2. 点検の目的

道路の点検とは、一般交通および第三者に支障を及ぼさないよう道路を常時良好な状態に維持し、修繕するために、道路の状況を的確に把握し、評価・判定する目的で行うものである。

また、必要に応じて道路の利用状況などについても把握するものとする。

3. 点検の種別

点検の種別は次のとおりである。

(1) 定期点検

構造物に接近して、定期的に点検するものである。

(2) 臨時点検

定期点検を補完するため、必要（異常気象時等）に応じて臨時的に点検するものである。

4. 点検の頻度

各点検種別ごとの点検頻度は原則として次のとおりである。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ①定期点検 | ----- | 2回／年 |
| ②臨時点検 | ----- | 必要の都度 |

5. 点検計画書の作成

点検業務の実施にあたっては、あらかじめ点検計画書を作成のうえ行う。
計画書には次の事項を記載する。

- ①点検の種別、範囲、箇所
- ②点検の工程（年間点検工程計画書） ----- （様式－１）
- ③点検者の構成と連絡体制
- ④点検の方法
- ⑤報告書の作成方法
- ⑥その他特に関係のある事項

6. 点検の対象構造物項目

点検の対象構造物は、項目は（表－１）に示すとおりである。

7. 判定の標準

点検の結果発見された損傷の程度を区分するため、対象構造物の点検項目ごとに下記の判定区分にもとづいて判定の標準を定めるものとする。

判 定 の 標 準

判定区分	一 般 的 状 況
AA	損傷が著しく、交通の安全確保、または第三者に対し、支障となっているかもしくはその恐れがあり、緊急補修の必要のある場合
A	損傷が大きく、補修するかどうかの検討が必要な場合
B	損傷が小さいが補修するかどうかの検討が必要な場合
OK	損傷がないが、あっても軽微で、補修する必要がない場合

※項目の判定の標準については・・・・・・Ⅱ．項目別判定の標準に基づく

8. 写真の撮影と整理

点検結果の確認と記録のため、構造物の全景と損傷を示す写真の撮影を必要に応じて行い、それを整理保管する。

9. 点検結果の報告

点検結果は下記の様式に記録し、監督員に報告するものとする。また、必要に応じて口頭などにも報告するものとする。

- ①点検表 ----- （様式－２）
- ②点検調書 ----- （様式－３）
- ③点検報告書 ----- （様式－４）

10. 処置方針について

点検結果にもとづく処置方針については、監督員が記入するものとする。
ただし、判定AAに相当する場合は、応急処置を行い点検者が速やかに口頭にて監督員に報告するものとする。

処 置 方 針

応急処置	調査中に損傷や以上を発見し、軽微な機材にて応急補修をするもの
緊急補修	判定でAAと判断されたもので、速やかに補修を行う必要があるもの
臨時点検	点検の結果からでは、損傷の評価（判定不能、技術上からの補修の要・否補修の優先度など）が十分にできず、再点検に必要性があると判断した場合に緊急に行うもの
調 査	点検の結果では管理事務所で損傷の評価が出来ない場合、公社(道路管理課)に調査を依頼するもの
観 察	損傷はあるが補修に至らなかった場合に今後の点検の中で追跡的に行われるもの
補 修	判定の標準に係わらず補修が必要なもの

目 項 檢 點 · 物 造 構 象 交

(表-1)

区分	細目区分	種別	項目	区分	細目区分	種別	項目
1. 路面	(1) 舗装	1) アスファルト舗装	①路上障害物 落下物、落石、崩土など・油よごれ、路面のよごれ ②ポットホール・はがれ、陥没 ③段差 ④わだちぬれ ⑤ひびわれ ⑥縦断の凸凹 コルゲーション ⑦薄層舗装のはくり ⑧排水	4. 橋梁	(1) コンクリート構造物 (上部工)	1) RC桁	①漏水・遊離石版 ②ひびわれ・角落 ③はくり・抜け落 ④鉄筋の露出・腐食 ⑤空洞・豆板 ⑥たわみ・振動の異常 ⑦橋梁下の建築限界
	2) コンクリート舗装		①路上障害物(落下物、落石、崩土など)・油よごれ、路面のよごれ ②穴あき・陥没 ③段差 ④摩耗(わだちぬれ) ⑤ひびわれ・角落 ⑥変形(縦断の凸凹) ⑦目地部の破壊 ⑧版の底堅・持ち上がり ⑨排水			3) RC床版	
	(2) 伸縮装置	1) 切削目地など	①本体の損傷 ②目地周辺の損傷 ③漏水 ④異常音		(2) コンクリート構造物 (下部工)	4) PC床版	①ひびわれ・角落 ②はり ③鉄筋の露出・腐食 ④空洞・豆板 ⑤漏水・遊離石版 ⑥沈下・移動・倒れ ⑦流阻・川床低下
	(3) 緑石	1) アスファルト緑石	①本体の損傷 ②後打材の損傷 ③段差 ④遊間の異常 ⑤漏水 ⑥異常音			2) 橋脚	①沈下・移動・流失
2. のり面	(1) 植生のり面	2) グルメジョイント	①本体の損傷 ②目地周辺の損傷 ③漏水 ④異常音		(3) 鋼構造物	3) 根固	
	(2) 特殊のり面	3) 鋼製ジョイント	①本体の損傷			5) 護岸	
		1) アスファルト緑石	①本体の損傷		1) 鋼桁	①船材のひびわれ ②船材の変形・脱落 ③HTボルトの脱落・ゆるみ ④リベットの脱落・ゆるみ ⑤異常音 ⑥橋梁下の建築限界	
		2) フレキシブルコンクリート緑石	①前落 ②亀裂・はらみ出し・陥没 ③肌着・ガリー浸食 ④小段などの堆積土 ⑤湧水 ⑥樹木の倒れ・根草の異常繁茂 ⑦植生の枯損 ⑧塵芥などの堆積 ⑨浮石・転石		3) 鋼橋脚	①鋼橋梁	①部材の損傷 ②遊間の異常 ③ボルトの脱落・ゆるみ
		1) コンクリートプロファイル	①ひびわれ・はくり ②ゆるみ・はらみ出し・陥没 ③洗掘 ④排水・湧水		5) 鋼製落橋防止装置	6) 検査路	①漏水・遊離石版 ②ひびわれ・角落・すりへり ③はくり・抜け落 ④鉄筋の露出・腐食 ⑤空洞・豆板 ⑥補強縦桁・補強鋼板の付着切れ シール材のはくり
		2) 場所打コンクリート枠	①ひびわれ・はくり ②せり出し・はらみ出し・目地のずれ ③空洞 ④洗掘		(4) 鋼橋床版		
		3) モルタル吹付	①排水・湧水				
		4) コンクリート吹付	①ひびわれ・はくり ②せり出し・はらみ出し・目地のずれ ③洗掘 ④排水・湧水		(5) 塗装		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③腐食 ④溶剤コンクリート・資産もたれ・保護もたれの損傷 ⑤遊間の異常 ⑥異常音 ⑦塵芥・土砂などの堆積
		5) コンクリート張	①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③腐食 ④基礎部の損傷 ⑤網背面などの堆積土		(6) 支承	1) 鋼製支承	①損傷 ②腐食
		6) 落石防止網	①本体の損傷		2) ゴム支承	1) 鋼製高欄	①ひびわれ・角落 ②はり・破損 ③鉄筋の露出・腐食
		7) 落石防護欄	①本体の損傷		(7) 高欄・地置	2) コンクリート製高欄	①ひびわれ・角落 ②はり ③鉄筋の露出・腐食 ④漏水・遊離石版
		8) 護欄	①本体の損傷		(3) 地覆		①ひびわれ・角落 ②はり・抜け落 ③鉄筋の露出・腐食 ④空洞・豆板
	(3) メンソール	1) コンクリートプロファイル	①ひびわれ・ゆるみ・はらみ ②沈下・移動・倒れ ③目地の異常 ④洗掘	5. カルバート	(1) 鉄筋コンクリートカルバート		①ひびわれ ②はり ③鉄筋の露出・腐食 ④沈下 ⑤接続部の損傷
		2) 石積	①排水・湧水		(2) 鉄筋コンクリートパイプカルバート		①ひびわれ ②はり ③鉄筋の露出・腐食 ④沈下 ⑤接続部の損傷
		3) コンクリートプロファイル	①鉄線の切断・破損・腐食 ②変形		(3) コルゲートパイプカルバート		①本体の損傷 ②腐食 ③沈下 ④接続部の損傷 ⑤塵芥・土砂などの堆積
		4) 石張	①ひびわれ・はくり ②せり出し・はらみ出し		(1) 防護欄		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③腐食 ④基礎部の損傷
		5) 蛇かご	①ひびわれ・角落 ②はく離 ③鉄筋の露出・腐食 ④沈下・移動・倒れ ⑤目地の異常 ⑥洗掘 ⑦排水・湧水		2) 眩光防止板		①本体の損傷
	(4) コンクリート擁壁	7) コンクリートプロファイル	①ひびわれ・はくり ②せり出し・はらみ出し	6. 交通安全施設	3) 遮光ネット		①本体の損傷
		1) 鉄筋コンクリート擁壁	①ひびわれ・角落 ②沈下・移動・倒れ ③目地の異常 ④洗掘 ⑤排水・湧水		1) 眩光防止網		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③腐食
3. 排水施設	(1) 路面排水施設	2) 無筋コンクリート擁壁	①ひびわれ・角落 ②沈下・移動・倒れ ③目地の異常 ④洗掘 ⑤排水・湧水		2) 眩光防止板		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③基礎部の損傷 ④腐食
		1) 路肩側溝	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		3) 遮光ネット		①本体の損傷
		2) 円形水路	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		1) 中央分離帯、転落防止網		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③基礎部の損傷 ④腐食
		3) ロードガッター	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積	7. 交通管理施設	4) 落下物防止欄		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③基礎部の損傷 ④腐食
		4) 中央分離帯側溝	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		(1) 標識		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③基礎部の損傷 ④腐食
		5) 縁こうのみ口	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		(2) 路面表示		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③基礎部の損傷 ④腐食
		6) 中央分離帯のみ口	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		(3) 埋線誘導標		①本体の損傷
		7) 排水管	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		(4) 距離標		①本体の損傷
		8) 集水ます	①本体の損傷 ②塵芥・土砂などの堆積	8. その他施設	(1) 遮音壁		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③腐食 ④基礎部の損傷
		9) メンホール	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		2) 吸音タイプ		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③腐食 ④基礎部の損傷
	(2) のり面排水施設	1) のり面排水溝	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		1) 雪庇予防欄		①本体の損傷 ②付属物の損傷 ③腐食 ④基礎部の損傷
		2) 小段排水溝	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積		2) 防雪網		①機器の損傷 ②作動の異常
		3) のり尻排水溝	①本体の損傷 ②接続部不良 ③塵芥・土砂などの堆積	9. 植栽	(1) 植栽		①樹木・芝の育成状況 ②病害虫の発生状況

Ⅱ 項目別判定の標準

1. 路面

1－(1)舗装	7
1－(2)伸縮装置	9
1－(3)縁石	10

2. のり面

2－(1)植生のり面	11
2－(2)特殊のり面	12
2－(3)メーソンリー	14
2－(4)コンクリート擁壁	15

3. 排水施設

3－(1)路面排水施設	17
3－(2)のり面排水施設	18
3－(3)橋梁排水施設	19
3－(4)側道・道路隣接地域排水施設	20

4. 橋梁

4－(1)コンクリート構造物（上部工）	21
4－(2)コンクリート構造物（下部工）	23
4－(3)鋼構造物	24
4－(4)鋼橋床版	25
4－(5)塗装	26
4－(6)支承	27
4－(7)高欄・地覆	28

5. カルバート

6. 交通安全施設

7. 交通管理施設

8. その他の施設

1. 路 面

1-(1) 舗装 判定の標準

舗装の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注) 数値はおおよその目安を示している。

細目 区分	種別	判 定 項目	A A	A	B
舗 装	アスファルト 舗装	①路上障害物 (落下物、落 石、崩土など) 油よごれ 路面のよごれ	路上障害物、油よごれ、 または路面のよごれなどが あり、交通に支障となっ ている。	—	—
		②ポットホール はがれ 陥 没	著しいポットホールなど があり、または引続き進展 の可能性があり、交通に支 障となっているか、その恐 れがある。	(高速および準高速) 深さ20mm以上、径20cm以上 のポットホールなどがある。 (一般道) 深さ30mm以上、径30cm以上 のポットホールなどがある。	ポットホールなどの深さ 高速・準高速 一般道 10mm以上 15mm以上 20mm未満 30mm未満
		③段 差	構造物の取付部などに急 激に発生した著しい段差が あり、または引続き進展の 可能性があり、交通に支障 となっているか、その恐れ がある。	段差 高速 準高速 一般道 橋梁 20mm 30mm 40mm 取付部 以上 以上 以上 横断 30mm 30mm 40mm 構造物 以上 以上 以上 取付部 以上 以上 以上 切盛境 以上 以上 以上	段差 高速 準高速 一般道 橋梁 10mm 15mm 20mm 取付部 以上 以上 以上 横断 20mm 30mm 40mm 構造物 未満 未満 未満 取付部 10mm 15mm 20mm 切盛境 以上 以上 以上 取付部 30mm 30mm 40mm 切盛境 未満 未満 未満
		④わだち掘れ	—	わだち深さ 高速 準高速 一般道 一般部 25mm 30mm 45mm 以上 以上 以上 登 坂 40mm 45mm 55mm 車 線 以上 以上 以上	わだち深さ 高速 準高速 一般道 一般部 15mm 20mm 25mm 以上 以上 以上 25mm 30mm 45mm 未満 未満 未満 登 坂 20mm 25mm 車 線 以上 以上 — 40mm 45mm 未満 未満
		⑤ひびわれ	—	・路体の変形に起因すると 考えられる。幅5mm以上 のひびわれが縦断または 横断方向にある。 ・亀甲状のひびわれがあ り、降雨時などにはがれ たり、または凹地になっ て支持力を失う恐れがあ る。	・路体の変形に起因すると 考えられる。幅5mm未満 のひびわれが縦断または 横断方向にある。 ・亀甲状のひびわれがあ る。
		⑥縦断の凹凸 コルゲーション	—	・縦断の凹凸が大きく乗り 心地が悪い。 ・コルゲーション(凹凸の差) 高速・準高速 一般道 30mm以上 40mm以上	・縦断の凹凸が認められ る。 ・コルゲーション(凹凸の差) 高 速 準高速 一般道 10mm 15mm 20mm 以上 以上 以上 30mm 30mm 40mm 未満 未満 未満
		⑦薄層舗装の はくり	—	わだち部分がはがれて機 能を失っている。	—

		判 定		A A	A	B
細目 区分	種別	項目				
		⑧漏 水	——	——	縦断曲線の凹部または平面曲線の変化点において、排水施設の機能低下、または路面の変形により、局部的な漏水が降雨ごとに発見される。	——
	コンクリート 舗装	①路上障害物 (落下物、落石、崩土など) 油よごれ 路面のよごれ	路上障害物、油よごれ、または路面のよごれなどがあり、交通に支障となっている。	——	——	——
		②穴あき 陥 没	著しい穴あきなどがあり、または引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	(高速および準高速) 深さ20mm以上、径20cm以上の穴あきなどがある。 (一般道) 深さ30mm以上、径30cm以上の穴あきなどがある。	穴あきなどの深さ 高速・準高速 一般道 10mm以上 15mm以上 20mm未満 30mm未満	
		③段 差	スリップバー、タイバーの切断、変形を伴う著しい段差があり、または引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	段 差 高 速 準高速 一般道 15mm 20mm 30mm 以上 以上 以上	段 差 高 速 準高速 一般道 10mm 15mm 20mm 以上 以上 以上 15mm 20mm 30mm 未満 未満 未満	
		④摩 耗 (わだち掘れ)	——	摩耗深さ 高速 準高速 一般道 一般部 25mm 30mm 45mm 以上 以上 以上 登 坂 40mm 45mm 55mm 車 線 以上 以上 以上	摩耗深さ 高速 準高速 一般道 一般部 15mm 20mm 25mm 以上 以上 以上 25mm 30mm 45mm 未満 未満 未満 登 坂 20mm 25mm 車 線 以上 以上 40mm 45mm 未満 未満	
		⑤ひびわれ 角 落	——	広範囲に、亀甲状のひびわれ、または角落などがあり、雨水の浸入によって路盤などに悪影響を及ぼす恐れがある。	ひびわれ、角落などがあるが、雨水の浸入によって路盤などに悪影響を及ぼす恐れは少ない。	
		⑥変 形 (縦横断の凹凸)	——	各ブロックの舗装版が著しく不規則な変形を起こしている。	各ブロックの舗装版が不規則な変形を起こしている。	
		⑦目地部の 破損	著しい目地部の角欠けなどがありまたは引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	目地部の角欠け、またはシール材の浮き上がりなどがあり、雨水の浸入によって路盤などに悪影響を及ぼす恐れがある。	目地部の角欠け、またはシール材の浮き上がりなどがあるが、雨水の浸入によって路盤などに悪影響を及ぼす恐れは少ない。	
		⑧版の座屈 持ち上がり	著しい舗装版の座屈、持ち上がりがあり、または引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	舗装版の座屈、持ち上がりがある。	——	
		⑨漏 水	——	縦断曲線の凹部、又は平面曲線の変化点において排水施設の機能低下、又は路面の変化により局部的な漏水が降雨ごとに発見される	——	

1－(2)伸縮装置 判定の標準

伸縮装置の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注) 数値はおおよその目安を示している。

細目 区分	判 定		A A	A	B
	種別	項目			
伸 縮 装 置	切削目地 など	①本体の損傷	著しいシール材の脱落または目地部の開きなどがあり、または引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	・長さ1 m以上のシール材の脱落がある。 ・幅20mm以上の目地部の開きがある。	シール材が局部的に破損したり脱落したりしている。
		②目地周辺の損傷	目地周辺に著しいくぼみまたは盛り上がりがあり、または引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	目地周辺に深さ20mm以上、長さ1 m以上、幅5 cm以上のくぼみ、または盛り上がりがある。	目地周辺にくぼみ、または盛り上がりがある。
		③漏 水	目地からの漏水があり、第三者に支障となっている。	目地からの漏水があり、他の部材に悪影響を及ぼしている。	——
		④異常音	——	目地部を車が通過する際に、通常の擦過音以外の金属たたき音、衝撃音など著しい異常音がある。	異常音がある。
ゴ ム ジョイント 鋼製 ジョイント	ゴ ム ジョイント 鋼製 ジョイント	①本体の損傷	著しい損傷があり、または引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	・フェースプレートに溶接部の破損または長さが1 m以上の浮き上がりがある。 ・アンカーボルト取付金具の欠損がある。 ・長さ50cm以上のフェースゴムの脱落がある。	・フェースプレートに局部的な溶接部の破損、または浮き上がりがある。 ・アンカーボルト取付金具のゆるみがある。 ・ボルトホルの充填物の剥離がある。 ・フェースゴムのひびわれ破損がある。
		②後打材の損傷	著しい損傷があり、または引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	・幅5 mm以上の本体と後打材、または後打材と舗装のすき間がある。 ・幅0.3mm以上、長さ50cm以上のひびわれがある。	幅0.2mm以上、長さ30cm以上のひびわれがある。
		③段 差	著しい段差があり、または引続き進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	段 差 高 速 準高速 一般道 15mm 20mm 30mm 以上 以上 以上	段 差 高 速 準高速 一般道 10mm 15mm 20mm 以上 以上 以上 15mm 20mm 30mm 未満 未満 未満
		④遊間の異常	——	・遊間が閉塞され、橋梁本体に設計値以上の応力が生じている恐れがある。 ・遊間が異常に開いており衝撃音が大きい。	・遊間がせばまり、伸縮に支障となる恐れがある。 ・遊間が大きく開いている。
		⑤漏 水	目地からの漏水があり第三者に支障となっている。	目地からの漏水があり、橋梁部材に悪影響を及ぼしている。	——
		⑥異常音	——	目地部を車が通過する際に、通常の擦過音以外の金属たたき音、衝撃音など著しい異常音がある。	異常音がある。

1－(3)縁石 判定の標準

縁石の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

判 定			A A	A	B
細目 区分	種別	項目			
縁 石	アスファルト	①本体の損傷	プレキャストコンクリート縁石に著しい浮き上がり、または逸脱などがあり、交通に支障となっている。	・プレキャストコンクリート縁石に浮き上がり、または逸脱などがある。 ・アスファルト縁石に著しい破損があり排水機能を損なっている。	・プレキャストコンクリート縁石に著しいはくり、または鉄筋の露出がある。 ・アスファルト縁石に著しい破損がある。

2. のり面

2-(1) 植生のり面 判定の標準

植生のり面の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

		判 定		A A	A	B
細目 区分	種別	項目				
植生 のり面	—	①崩 落	崩落があり、または引続きその可能性があり、交通または第三者に支障となっているか、その恐れがある。		崩落はしているが、進展の恐れは少ない。	崩落はしているが、進展の恐れはない。
		②亀 裂 はらみ出し 陥 没	崩落に結びつく著しい亀裂、はらみ出し、または陥没があり、交通または第三者に支障となる恐れがある。		遠くからでも明らかに視認できる程度の亀裂、はらみ出しまたは陥没があるが進展の恐れは少ない。	亀裂、はらみ出しまたは陥没があるが、進展の恐れはない。
		③肌 落 ガリー浸食	—		広範囲にわたる肌落、ガリー浸食(掘れ溝)があり、進展の恐れがある。	部分的な肌落、ガリー浸食(掘れ溝)があるが、進展の恐れはない。
		④小段などの 堆積土	落下に結びつく落石、崩土などの堆積があり、交通または第三者に支障となる恐れがある。		落石、崩土などの堆積があるが、落下の恐れは少ない。	落下、崩土などの堆積があるが、落下の恐れはない。
		⑤湧 水	崩壊に結びつく、通常はにぎったことのない湧水の急激なにごり、または湧水量の急激な変化などがあり交通または第三者に支障となる恐れがある。		湧水の変化が著しいが、崩壊の恐れは少ない。	湧水があるが、崩壊の恐れはない。
		⑥樹木の倒れ 雑草の異常 繁茂	樹木の倒れ、傾き、または雑草などの異常繁茂があり、交通に支障となっている。		樹木の倒れ、傾き、または雑草などの異常繁茂がある。	—
		⑦植生の枯損	—		植生による被覆が小程度(被覆率30%未満)である。	植生による被覆が中程度(被覆率30%以上70%未満)である。
		⑧塵芥などの 堆積	—		のり面に多量の投棄物があり、環境衛生上好ましくない。	—
		⑨浮 石 転 石	のり面、または斜面上に著しく不安定な状態で浮石または転石があり、交通または第三者に支障となる恐れがある。		のり面、または斜面上に不安定な状態で浮石または転石がある。	—

2-(2)特殊のり面 判定の標準

特殊のり面の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分		判 定		A A	A	B
種別	項目					
特 殊 の り 面	コンクリート ブロック枠 場所打 コンクリート枠	①ひびわれ はくり	欠落に結びつく著しいひびわれなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	広範囲にわたりひびわれまたははくりがあり、進展の恐れがある。	局部的にひびわれ、またははくりがあるが、進展の恐れは少ない。	
		②ゆるみ はらみ出し 陥 没	抜け落または崩落に結びつく著しいゆるみ、はらみ出し、または陥没があり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	ゆるみ、はらみ出しましたは陥没があるが、進展の恐れは少ない。	ゆるみ、はらみ出しましたは陥没があるが、進展の恐れはない。	
		③洗 掘	——	基礎または本体の周辺が著しく洗掘されており、進展の恐れがある。	基礎または本体の周辺が洗掘されているが、進展の恐れは少ない。	
		④排 水 湧 水	抜け落ちまたは崩壊に結びつく著しい目地などからの出水、水のにごり、水量の変化、または水抜き穴の詰まりなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	目地などからの異常な出水、急な水のにごり、水量の変化、または水抜き穴の詰まりなどがあり、本体に悪影響を及ぼすような、背面水圧の上昇などの恐れがある。	目地などからの異常な出水、急な水のにごり、水量の変化、または水抜き穴の詰まりなどがある。	
	モルタル吹付 コンクリート 吹付	①ひびわれ はくり	欠落に結びつく著しいひびわれなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	広範囲にわたりひびわれ、またははくりがあり、進展の恐れがある。	局部的にひびわれまたははくりがあるが、進展の恐れは少ない。	
		②せり出し はらみ出し 目地のずれ	崩壊に結びつく著しいのり先のせり出し、はらみ出しましたは目地のずれがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	のり先のせり出し、はらみ出し、または目地のずれがあるが、進展の恐れは少ない。	のり先のせり出し、はらみ出し、または目地のずれがあるが、進展の恐れはない。	
		③空 洞	——	——	降雨後の晴天日に、モルタルまたはコンクリート面が早く乾燥していたり（白いまだらとなっている）、水抜き穴などから著しい土砂が流出したりした形跡がある。 ・ハンマーによるたたき音から空洞化の恐れがある。	
		④洗 掘	——	本体の周辺が著しく洗掘されており、進展の恐れがある。	本体の周辺が洗掘されているが、進展の恐れは少ない。	
		⑤排 水 湧 水	抜け落ちまたは崩壊に結びつく著しい、目地などからの出水、水のにごり、水量の変化、または水抜き穴の詰まりなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	目地などからの異常な出水、急な水のにごり、水量の変化、または水抜き穴の詰まりなどがあり、本体に悪影響を及ぼすような、背面水圧の上昇などの恐れがある。	目地などからの異常な出水、急な水のにごり、水量の変化、または水抜き穴の詰まりなどがある。	
	コンクリート張	①ひびわれ はくり	欠落に結びつく著しいひびわれなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	広範囲にわたるひびわれ、またははくりがあり、進展の恐れがある。	局部的にひびわれ、またははくりがあるが、進展の恐れは少ない。	

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
		②せり出し はらみ出し 目的のずれ	崩壊に結びつく著しいのり先のせり出し、はらみ出し、または目地のずれがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	のり先のせり出し、はらみ出し、または目地のずれがあるが、進展の恐れは少ない。	のり先のせり出し、はらみ出し、または目地のずれがあるが、進展の恐れはない。	
		③洗 掘	——	本体の周辺が著しく洗掘されており、進展の恐れがある。	本体の周辺が洗掘されているが進展の恐れは少ない。	
		④排 水 湧 水	抜け落、または崩壊に結びつく著しい目地などからの出水、水のにごり、水量の変化、または水抜き穴の詰まりなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	目地などからの異常な出水、急な水のにごり、水量の変化または水抜き穴の詰まりなどがあり、本体に悪影響を及ぼすような背面水圧の上昇などの恐れがある。	目地などからの異常な出水、急な水のにごり、水量の変化、または水抜き穴の詰まりなどがある。	
	落石防止 網 落石防止 柵	①本体の損傷	網、またはロープに機能低下に結びつく切断、脱落著しい破損または支柱の倒れなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	網、ロープ、または支柱に広範囲な破損、変型、または傾きなどがある。	網、ロープ、または支柱に局部的な破損、変型または傾きなどがある。	
		②附属物の損傷	——	取付金具、またはボルトに脱落などがあり、本体の損傷の恐れがある。	取付金具、またはボルトに脱落、または破損などがある。	
		③腐 食	——	広範囲にわたって著しく腐食している。	局部的に著しく腐食している。	
		④基礎部の損傷	——	アンカーの浮き上がり、または基礎周辺の洗掘などがあり、本体の損傷の恐れがある。	アンカーの浮き上がり、または基礎周辺の洗掘などがあるが、本体の損傷の恐れは少ない。	
		⑤網背面などの堆積土	防止網、または防止柵の背面に落下に結びつく落石または崩土の堆積があり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	防止網、または防止柵の背面に落石、または崩土の堆積があり本体に悪影響を及ぼしている。	防止網、または防止柵の背面に落石、または崩土の堆積があるが、本体に悪影響は及ぼしていない。	
	編 柵	①本体の損傷	杭、または編柵の著しい破損などによる土砂流出があり、または引き続きその可能性があり、交通または第三者に支障となっているかその恐れがある。	杭、または編柵に破損または腐食などがあり、土砂流出の恐れがある。	杭、または編柵に破損または腐食などがあるが、土砂流出の恐れが少ない。	

2-(3)メーソンリー 判定の標準

メーソンリーの定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

		判 定		A A	A	B
細目 区分	種別	項目				
メ ー ソ ン	コンクリートブ ロック積石 積 コンクリートブ ロック張石 張	①ひびわれ ゆるみ はらみ	欠落または崩壊に結びつ く、著しいひびわれ、ゆる み、またははらみがあり、 交通または第三者に支障と なる恐れがある。	ひびわれ、ゆるみ、また ははらみが著しく、進展の 恐れがある。	ひびわれ、ゆるみ、また ははらみがあるが、進展の 恐れは少ない。	
		②沈 下 移 動 倒 れ	倒壊に結びつく著しい沈 下、移動または倒れがあり 、交通または第三者に支障 となる恐れがある。	沈下、移動、または倒れ が大きく進展の恐れがあつ たり、上部のり面などに悪 影響を及ぼしたりしてい る。	沈下、移動、または倒れ が小さく、進展の恐れが少 ない。	
		③目地の異常	——	目地のずれ、開きまたは 段差などが著しく進展の恐 れがある。	目地のずれ、開き、また は段差などがあるが、進展 の恐れは少ない。	
		④洗 掘	——	基礎または本体の周辺が 著しく洗掘されており、進 展の恐れがある。	基礎または本体の周辺が 洗掘されているが、進展の 恐れは少ない。	
		⑤排 水 湧 水	抜け落、または崩壊に結 びつく著しい、目地などか らの出水、水のにごり水量 の変化、または水抜き穴の 詰まりなどがあり、交通ま たは第三者に支障となる恐 れがある。	目地などからの異常な出 水、急な水のにごり、水量 の変化、または水抜き穴の つまりなどがあり、本体に 悪影響を及ぼすような背面 水圧の上昇などの恐れがあ る。	目地などからの異常な出 水、急な水のにごり、水量 の変化、または水抜き穴の 詰まりなどがある。	
リ ー	蛇かご ふとんか ご	①鉄線の切断 ・破損腐食	中詰材の脱落に結びつ く、かご鉄線の切断、著し い破損、または腐食があり 、交通または第三者に支障 となる恐れがある。	かご鉄線に切断著しい破 損、または腐食があり、中 詰材が脱落する恐れがあ る。	かご鉄線に、切断、破損 または腐食があるが中詰材 が脱落する恐れは少ない。	
		②変 形	崩壊に結びつく著しいか ごの、ずり落ち、またはず れなどがあり、交通または 第三者に支障となる恐れが ある。	かごに、ずり落ち、また はずれなどがあり、ほかの 構造物に悪影響を及ぼして いる。	かごに、ずり落ち、また はずれなどが認められる が、安定している。	
	コンクリートブ ロック井桁	①ひびわれ はくり	欠落に結びつく著しいひ びわれなどあり、交通また は第三者に支障となる恐れ がある。	広範囲にわたりひびわ れ、またははくりがあり、進 展の恐れがある。	局部的に、ひびわれ、ま たははくりがあるが、進展 の恐れは少ない。	
		②ゆるみ はらみ出し	抜け落または崩落に結び つく、著しい、ゆるみ、ま たははらみ出しがあり、交 通または第三者に支障とな る恐れがある。	ゆるみ、またははらみ出 しがあり進展の恐れがあ る。	ゆるみ、またははらみ出 しがあるが、進展の恐れは 少ない。	

2-(4)コンクリート擁壁 判定の標準

コンクリート擁壁の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注) 数値はおおよその目安を示している。

細目 区分	判 定		A A	A	B
	種別	項目			
コンクリート擁壁	鉄筋コンクリート擁壁	①ひびわれ 角 落	コンクリートの欠落に結びつく、著しいひびわれなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	ひびわれ（幅0.3mm以上）または角落があり、ひびわれ最小間隔が50cm未満である。	ひびわれ（幅0.3mm以上）がありひびわれ最小間隔が50cm以上1 m未満である。
		②はくり	はくりがあり、さらに引き続き、その可能性があり交通または第三者に支障となる恐れがある。	大きなはくり（径50cm以上）がある。	小さなはくり（径50cm未満）がある。
		③鉄筋の露出・腐食	——	主構造部分の主鉄筋が、大きく（長さ50cm以上）露出したり、腐食したりしている。	主鉄筋が局部的に露出したり、腐食したりしている。
		④沈下移動倒れ	倒壊に結びつく著しい沈下、移動、または倒れがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	沈下、移動、または倒れが大きく、進展の恐れがあったり、上部のり面などに悪影響を及ぼしたりしている。	沈下、移動、または倒れが小さく、進展の恐れが少ない。
		⑤目地の異常	——	目地のずれ、開き、または段差などが著しく、進展の恐れがある。	目地のずれ、開き、または段差などがあるが、進展の恐れは少ない。
		⑥洗掘	——	基礎、または躯体の周辺が著しく洗掘されており、進展の恐れがある。	基礎、または躯体の周辺が洗掘するされているが、進展の恐れが少ない。
		⑦排水湧水	倒壊に結びつく著しい、目地などからの出水、水のにごり、水量の変化、またははたは水抜き穴の詰まりなどがあり、交通または第三者に支障となる恐れがある。	目地または打継目などからの異常な出水、急な水のにごり、水量の変化、または水抜き穴のつまりなどがあり、本体に悪影響を及ぼすような背面水圧の上昇などの恐れがある。	目地または打継目などからの出水、急な水のにごり、水量の変化、または水抜き穴のつまりなどがある。
	無筋コンクリート擁壁	①ひびわれ 角 落	コンクリートの欠落に結びつく、著しいひびわれなどがあり、交通また第三者に支障となる恐れがある。	ひびわれ、または角落が大きく、進展する恐れがある。	ひびわれ、または角落が小さく、進展の恐れは少ない。
		②沈下移動倒れ	倒壊に結びつく著しい沈下、移動または倒れがあり交通または第三者に支障となる恐れがある。	沈下、移動または倒れが大きく、進展の恐れがあったり、上部のり面などに悪影響を及ぼしたりしている。	沈下、移動、または倒れが小さく進展の恐れは少ない。
		③目地の異常	——	目地のずれ、開き、または段差などが著しく、進展の恐れがある。	目地のずれ、開き、または段差などがあるが、進展の恐れは少ない。
		④洗掘	——	基礎または躯体周辺が著しく洗掘されており、進展の恐れがある。	基礎または躯体の周辺が洗掘されているが、進展の恐れは少ない。

細目 区分		判 定		A A	A	B
種別	項目					
		⑤排 水 湧 水	倒壊に結びつく著しい、 目地などからの出水、水の にごり、水量の変化、また は水抜き穴のつまりなどが あり、交通または第三者に 支障となる恐れがある。	目地、または打継目など からの異常な出水、急な水 のにごり、水量の変化、ま た水抜き穴のつまりなどが あり、本体に悪影響を及ぼ すような背面水圧の上昇な どの恐れがある。	目地または打継目などか らの出水急な水のにごり、 水量の変化、または水抜き 穴のつまりなどがある。	

3. 排水施設

3-(1) 路面排水 判定の標準

路面排水施設の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
路 面 排 水 施 設	路肩側溝 円型水路 ロータリ・ガッ ター 中央分離 帯側溝 縦 溝 のみ口 中央分離 帯のみ口 排水 管 集水ます マンホール	①本体の損傷	○盛土部路肩側溝などに、 溢流またはのり面崩壊に 結びつく本体の損傷があ り、第三者に支障となっ ているか、その恐れがあ る。 ○蓋に、はずれ、または著 しい損傷があり、または 引続き進展の可能性があ り、交通に支障となっ ているか、その恐れがある。	○本体に損傷があり、排水 機能が著しく低下してい る。 ○蓋に、はずれ、または損 傷があり、機能が著しく 低下している。	○本体に損傷があり排水機 能が低下している。 ○蓋に損傷があり、機能が 低下している。	
		②接続部不良	—	漏水があり、底面または 側面が先掘している。	漏水があり、底面または 側面が軽微に洗掘してい る。	
		③塵芥・土砂 などの堆積	溢流、またはのり面崩壊 に結びつく塵芥・土砂な どの堆積があり、第三者に支 障となっているか、その恐 れがある。	排水機能が著しく低下し ており、路面滞水がある。	排水機能が低下してお り、一時的な路面滞水があ る。	

3-(2)のり面排水 判定の標準

のり面排水施設の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
のり 面 排 水 施 設	のり肩 排水溝 小段 排水溝 のり尻 排水溝 縦 溝 集水ます	①本体の損傷	排水溝、または縦溝などに溢流、またはのり面崩壊に結びつく本体の損傷があり、交通、または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	○本体に損傷があり、排水機能が著しく低下している。 ○蓋に、はずれ、または損傷があり、機能が著しく低下している。	○本体に損傷があり、排水機能が低下している。 ○蓋に損傷があり、機能が低下している。	
		②接続部不良	——	漏水があり、底面または側面が先掘している。	漏水があり、底面または側面が軽微に洗掘している。	
		③塵芥・土砂などの堆積	溢流、またはのり面崩壊に結びつく塵芥・土砂などの堆積があり、交通、または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	排水機能が著しく低下している。	排水機能が低下している。	
		④雑草による通水阻害	——	排水機能が著しく低下している。	排水機能が低下している。	

3-(3) 橋梁排水施設 判定の標準

橋梁排水施設の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
橋 梁 排 水 施 設	橋梁排水 ます	①本体の損傷	蓋に、はずれ、または著しい損傷があり、交通に支障となっている。	蓋に、はずれ、または損傷があり、機能が著しく低下している。	蓋に、損傷があり、機能が低下している。	
		②塵芥・土砂などの堆積	横面滞水に結びつく塵芥・土砂などの堆積があり、交通に支障となっている。	排水機能が著しく低下しており、橋面滞水がある。	排水機能が低下しており、一時的な橋面滞水がある。	
	橋梁伸縮 継手排水 樋	①本体の損傷	漏水があり、第三者に支障となっている。	漏水があり、支承、または橋梁本体の主要鋼材が著しく腐食している。	漏水がある。	
		②塵芥・土砂などの堆積	溢流があり、第三者に支障となっている。	溢流があり、支承、または橋梁本体の主要鋼材が著しく腐食している。	溢流がある。	
	橋梁排水 管	①本体の損傷	漏水があり、第三者に支障となっている。	漏水があり、取付金具、または橋梁本体の主要鋼材が著しく腐食している。	漏水がある。	
		②接続部不良	漏水があり、第三者に支障となっている。	漏水があり、取付金具、または橋梁本体の主要鋼材が著しく腐食している。	漏水がある。	
		③塵芥・土砂などのつまり	橋面滞水または、受けますからの漏水に結びつく塵芥・土砂などのつまりがあり、交通または第三者に支障となっている。	排水機能が著しく低下しており、橋面滞水、または受ますからの溢流があり、取付金具または、橋梁本体の主要鋼材が著しく腐食している。	排水機能が低下しており、一時的な橋面滞水、または受ますからの溢流がある。	

3－（４）側道・道路隣接地域排水施設 判定の標準

側道・道路隣接地域排水施設の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分		判 定		A A	A	B
種別	項目					
側道 ・ 道路隣 接地域 排水 施設	排水溝 排水管 集水ます マンホール	①本体の損傷	切土区間の側道排水溝などに、溢流またはのり面崩壊に結びつく本体の損傷があり、交通または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	○本体に損傷があり、排水機能が著しく低下している。 ○蓋のはずれ、または損傷があり、機能が著しく低下している。	○本体に損傷があり、排水機能が低下している。 ○蓋に損傷があり、機能が低下している。	
		②接続部不良	—	漏水があり、底面または側面が洗掘している。	漏水があり、底面または側面が軽微に洗掘している。	
		③塵芥・土砂などの堆積	溢流、またはのり面崩壊に結びつく塵芥・土砂などの堆積があり、交通または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	排水機能が著しく低下している。	排水機能が低下している。	
		④雑草による通水阻害	—	排水機能が著しく低下している。	排水機能が低下している。	
	コンクリート水路 ブロック積水路	①本体の損傷	溢流に結びつく本体の損傷があり、交通または第三者に支障となっている。	本体に損傷があり、排水機能が著しく低下している。	本体に損傷があり、排水機能が低下している。	
		②塵芥・土砂などの堆積	溢流、またはのり面崩壊に結びつく塵芥・土砂などの堆積があり、交通または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	排水機能が著しく低下している。	排水機能が低下している。	

4. 橋 梁

4-(1) コンクリート構造物(上部工) 判定の標準

コンクリート構造物(上部工)の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注) 数値はおおよその目安を示している。

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
コ ン ク リ ー ト 構 造 物 （ 上 部 工 ）	R C 桁 R C 床版	①漏 水 遊離石灰	漏水があり、第三者に支障となっている。	遊離石灰が二方向に発生しており、両方向ともその間隔が50cm以下である。	遊離石灰が一方方向に発生している。	
		②ひびわれ 角 落	コンクリートの欠落に結びつく、著しいひびわれなどがあり、交通、または第三者に支障となる恐れがある。	ひびわれ（幅0.3mm以上）、または角落があり、ひびわれ最小間隔は50cm未満である。	ひびわれ（幅0.3mm以上）あり、ひびわれ最小間隔は50cm以上 1 m 未満である。	
		③はくり 抜け落	はくり、抜け落があり、または引き続きその可能性があり、交通または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	大きなはくり（径50cm以上）がある。	小さなはくり（径50cm未満）がある。	
		④鉄筋の露出 ・腐 食	——	主構造部分の主鉄筋が、大きく（長さ50cm以上）、露出したり、腐食したりしている。	主鉄筋が局部的に露出したり、腐食したりしている。	
		⑤空 洞 豆 板	——	主構造部分に著しい空洞、または豆板がある。	局部的に空洞、または豆板がある。	
		⑥たわみ 振動の異常	——	○橋面上に異常な滞水が繰り返り発生する。 ○極端なたわみが目視される。 ○橋面上に立って、特に異常な振動を感じる。	——	
		⑦橋梁下の建築限界	——	橋梁下側の建築限界を侵している。	——	
	P C 桁 P C 床版	①漏 水 遊離石灰	漏水があり、第三者に支障となっている。	遊離石灰が二方向に発生しており、両方向ともその間隔が50cm以下である。	遊離石灰が一方方向に発生している。	
		②ひびわれ 角 落	コンクリートの欠落に結びつく、著しいひびわれなどがあり、交通、または第三者に支障となる恐れがある。	ひびわれ（幅0.2mm以上）、または角落があり、ひびわれ最小間隔は50cm未満である。	ひびわれ（幅0.2mm以上）があり、ひびわれ最小間隔は50cm以上 1 m 未満である。	
		③はくり 抜け落	はくり、抜け落があり、または引き続きその可能性があり、交通、または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	大きなはくり（径50cm以上）がある。	小さなはくり（径50cm未満）がある。	
		④鉄筋の露出 ・腐 食	——	○主構造部分の鉄筋が、大きく（長さ50cm以上）露出したり、腐食したりしている。 ○P C 鋼材またはシースが大きく（長さ50cm以上）がある。露出している。 ○P C 定着体が露出している。	○鉄筋が、局部的に露出したり腐食したりしている。 ○P C 鋼材または、シースが、局部的に露出している。	

細目 区分		種別	判 定		A A	A	B
			項 目				
		⑤空 洞 豆 板		——	局部的に空洞、または豆板がある。	主構造部分に大きな空洞、または豆板ある。	
		⑥たわみ 振動の異常		——	○橋面上に異常な滞水が繰り返り発生する。 ○極端なたわみが目視される。 ○橋面上に立って特に異常な振動を感じる。	——	
		⑦橋梁下の建築限界		——	○橋梁下側の建築限界を侵している。	——	

4－（２）コンクリート構造物（下部Ⅰ）判定の標準

コンクリート構造物（下部工）の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注）数値はおおよその目安を示している。

細目 区分	判 定		A A	A	B
	種別	項目			
コ ン ク リ ー ト 構 造 物 （ 下 部 工 ）	橋 台 橋 脚	①ひびわれ 角 落	コンクリートの欠落に結 びつく、著しいひびわれな どがあり、第三者に支障と なる恐れがある。	ひびわれ（幅0.3mm以上）、 または角落があり、ひびわ れ最小間隔は50cm未満であ る。	ひびわれ（幅0.3mm以上） あり、ひびわれ最小間隔は 50cm以上1 m未満である。
		②はくり	はくりがあり、さらに引 続きその可能性があり、第 三者に支障となる恐れがあ る。	大きなはくり（径50cm以 上）がある。	小さなはくり（径50cm未 満）がある。
		③鉄筋の露出 ・腐 食	——	主構造部分の主鉄筋が、 大きく（長さ50cm以上）、 露出したり、腐食したりし ている。	主鉄筋が局部的に露出し たり、腐食したりしている。
		④空 洞 豆 板	——	主構造部分に、大きな空 洞、または豆板がある。	大きな空洞、または豆板 がある。
		⑤漏 水 遊離石灰	漏水があり、第三者に支 障となっている。	漏水、または遊離石灰の 流出が著しく、主構造部分 の鋼材を腐食させている。	局部的に漏水、または遊 離石灰の流出があり、鋼材 を腐食させている。
		⑥沈 下 移 動 倒 れ	——	○沈下（沈下量25mm以上） などがあり、上部工、支 承または隣接構造物に悪 影響を及ぼしている。 ○橋台パラペットが主桁を 拘束して、温度変化など により、桁に大きな応力 が生じる恐れがある。	沈下（沈下量15mm以上25 mm未満）などがあり、上部 工、支承または隣接構造物 に悪影響を及ぼす恐れがあ る。
		⑦洗 掘 河床低下	——	○フーチング、またはケー ソンなどの頭部が、洗掘 または河床低下などによ り、設計面下まで露出し ている。 ○橋台ウイング周辺が著し く洗掘されている。	○フーチング、またはケー ソンなどの頭部が、洗掘 または河床低下などによ り、露出している。 ○橋台ウイング周辺が洗掘 されている。
	根 固 床 固 護 岸	①沈 下 移 動 流 失	流失などがあり、また引 続きその進展の可能性があ り、第三者に支障となっ ているか、その恐れがある。	沈下、移動、または流失 により、全体的に著しい損 傷がある。	沈下、移動または流失に より、局部的に損傷がある。

4－（３）鋼構造物 判定の標準

鋼構造物の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注）数値はおおよその目安を示している。

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
鋼 構 造	鋼 桁 鋼床版 鋼橋脚 鋼横梁	①部材のひび われ	——	——	主構造部材に大きなひび われによる断面の欠損があ る。	部材に局部的なひびわれ がある。
		②部材の変型 ・脱 落	部材に変型、脱落があり、 または引続きその可能性があ り、交通、または第三者に 支障となっているか、その 恐れがある。	——	主構造部材に著しい変型 がある。	部材に局部的な変型があ る。
		③H. T. ボ ルトの脱落 ・ゆるみ	H. T. ボルトの脱落があ り、さらに引続きその可 能性があり、第三者に支障 となる恐れがある。	——	連結部 1 箇所あたり 2 本 以上の脱落がある。	連結部 1 箇所あたりに、 1 本の脱落、2 本以上のゆ るみ、または腐食がある。
		④リベットの 脱落・ゆる み	リベットの脱落があり、 さらに引続きその可能性があ り、第三者に支障となる 恐れがある。	——	連結部 1 箇所あたり 2 本 以上の脱落がある。	連結部 1 箇所あたりに、 1 本の脱落、2 本以上のゆ るみ、または腐食がある。
		⑤異常音	——	——	桁、または梁に、揺れ、 きしみ、または車両の衝撃 による大きな異常音が発生 している。	異常音が発生している。
		⑥橋梁下の建 築限界	——	——	橋梁下側の建築限界を侵 している。	——
物	鋼 製 落 橋 防 装 置 ・ 検 査 路	①部材の損傷	部材に変型、または脱落 などがあり、さらに引続き その可能性があり、第三者 に支障となる恐れがある。	——	部材に著しいひびわれ、 または変形がある。	局部的にひびわれ、また は変形がある。
		②遊間の異常	——	——	遊間が不良で、桁の移動、 または回転が不能である。	遊間が不良で、桁の移動 または回転に支障がある。
		③ボルトの脱 落・ゆるみ	H. T. ボルトまたは普 通ボルトの脱落があり、さ らに引続きその可能性があ り、第三者に支障となる恐 れがある。	○H. T. ボルトが連結部 1 箇所あたり 1 本以上脱 落していたり、2 本以上 ゆるんでいたりする。 ○普通ボルトが連結部 1 箇 所あたり 2 本以上脱落し ている。	○H. T. ボルトが連結部 1 箇所あたり 1 本以上ゆ るんでいる。 ○普通ボルトが連結部 1 箇 所あたり 1 本以上脱落し ていたたり、2 本以上ゆる んでいたりする。	

4－（４）鋼橋床版 判定の標準

鋼橋床版の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注）数値はおおよその目安を示している。

判 定		A A	A	B	
細目 区分	種別 項目				
鋼 橋 床 版	—	①漏 水 遊離石灰	漏水があり、第三者に支障となっている。	遊離石灰が二方向に発生しており、両方ともその間隔が50cm以下である。	遊離石灰が一方向に発生している。
		②ひびわれ 角 落 すりへり	コンクリートの欠落に結びつく、著しいひびわれなどがあり、交通、または第三者に支障となる恐れがある。	二方向のひびわれ、または亀甲状のひびわれがあり、角落・すりへりが生じている。ひびわれ幅は0.1mm以上で、ひびわれ最小間隔は50cm未満である。	主として一方向ひびわれが生じている。ひびわれ幅は0.1mm以上で、ひびわれ最小間隔は50cm以上1m未満である。
		③はくり 抜け落	はくり、抜け落があり、または引き続きその可能性があり、交通、または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	大きなはくり（径50cm以上）がある。	小さなはくり（径50cm未満）がある。
		④鉄筋の露出 ・腐 食	—	主構造部分の主鉄筋が大きく（長さ50cm以上）露出したり、腐食したりしている。	主鉄筋が局部的に露出したり、腐食したりしている。
		⑤空 洞 豆 板	—	主構造部分に大きな空洞、または豆板がある。	局部的に空洞、または豆板がある。
		⑥補強縦桁・ 補強鋼板の 付着切れ・ シール材の はくり	—	付着切れが、最大曲げ部分の縦桁で、長さ50cm以上または鋼板で広さ50×50cm以上発生している。	局部的に付着切れ、またはシール材のはくりがある。

4－（５）塗装 判定の標準

塗装の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注）数値はおおよその目安を示している。

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
塗 装	—	①ひびわれ ふくれ はがれ 錆	—	—	部材全体に、ひびわれ、はがれ、ふくれ、または錆が発生しており、その面積が全体面積の20%以上である。	局部的に、ひびわれ、はがれ、ふくれ、または錆が発生しており、その面積が全体面積の10%以上20%未満である。
		②漏 水 滞 水	—	—	○漏水により、主構造部材に広く腐食が発生している。 ○箱桁内に滞水があり、広く腐食している。	○漏水により、部材が局部的に腐食している。 ○箱桁内に滞水があり、局部的に腐食している。

4－（6）支承 判定の標準

支承の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分	種別	判 定		A A	A	B
		項目				
支 承	鋼製支承	①本体の損傷	本体の損傷があり、または引続きその進展の可能性があり、交通に支障となっているか、その恐れがある。	——	上下沓のわれ、沈下、または傾斜により、支持、回転または移動などの機能が果たせない。	上下沓にひびわれ、または傾斜がある。
		②附属物の損傷	——	——	ストッパー、浮き上がり止アンカーボルト、またはセットボルトなどが切断している。	ストッパー、浮き上がり止アンカーボルト、またはセットボルトなどに、ひびわれまたはゆるみがある。
		③腐 食	——	——	○全体的に著しく腐食している。 ○ローラーやベアリングプレートが腐食しており、回転、または移動の機能が果たせない。	○部分的に腐食がある。 ○ローラーやベアリングプレートの錆により、回転、または移動の機能に支障がある。
		④沓座コンクリート・沓座モルタル・保護モルタルの損傷	——	——	○沓座コンクリート広くひびわれがある。 ○沓座モルタルに、空洞またはわれがある。	保護モルタルに、われ、またははくりがある。
		⑤遊間の異常	——	——	支承遊間の不良で、桁の回転、または移動の機能が果たせない。	支承遊間の不良で、桁の回転、または移動の機能に支障がある。
		⑥異常音	——	——	大きな異常音が発生している。	異常音が発生している。
		⑦塵芥・土砂などの堆積	——	——	支承が塵芥・土砂などの堆積により、埋まっている。	支承周辺に塵芥・土砂などの堆積がある。
	ゴム支承	①ひびわれはらみず れめくれ	——	——	ゴム全体に、ひびわれ、はらみ、ずれ、またはめくれがある。	ゴムの一部分に、ひびわれ、はらみ、ずれ、またはめくれがある。
		②沓座コンクリート・沓座モルタルの損傷	——	——	○沓座コンクリートに、広くひびわれがある。 ○沓座モルタルに、大きなひびわれまたは角欠けがある。	○沓座コンクリートに、局所的なひびわれがある。 ○沓座モルタルにひびわれがある。
		③塵芥・土砂などの堆積	——	——	支承が、塵芥・土砂などの堆積により、埋まっている。	支承周辺に塵芥・土砂などの堆積がある。

4－（7）高欄・地覆 判定の標準

高欄・地覆の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注）数値はおおよその目安を示している。

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
高 欄 地 覆	鋼製高欄	①損 傷	部材の脱落があり、交通に支障となっている。	――	広範囲に、大きな変型、またはひびわれがある。	局部的に、変型、ひびわれ、またはボルトの脱落がある。
		②腐 食	――	――	広範囲にわたり、著しく腐食している。	局部的に著しく腐食している。
	コンクリート製高欄	①ひびわれ	コンクリートの欠落に結びつく著しい、ひびわれがあり、第三者に支障となる恐れがある。	――	ひびわれ（幅0.3mm以上）があり、ひびわれ最小間隔は50cm未満である。	ひびわれ（幅0.3mm以上）があり、ひびわれ最小間隔は50cm以上1m未満である。
		②はくり破 損	はくり、または著しい破損があり、または引続きその可能性があり、交通または第三者に支障となっているか、その恐れがある。	――	大きなはくり（径50cm以上）がある。	小さなはくり（径50cm未満）がある。
		③鉄筋の露出・腐 食	――	――	主鉄筋が大きく（長さ50cm以上）露出したり、腐食したりしている。	主鉄筋が部分的に露出したり腐食したりしている。
	地 覆	①ひびわれ	コンクリートの欠落に結びつく著しい、ひびわれがあり、第三者に支障となる恐れがある。	――	ひびわれ（幅0.3mm以上）、角落ちがあり、ひびわれ最小間隔は50cm未満である。	ひびわれ（幅0.3mm以上）があり、ひびわれ最小間隔は50cm以上1m未満である。
		②はくり	著しいはくりがあり、さらに引続きその可能性があり、第三者に支障となる恐れがある。	――	大きなはくり（径50cm以上）がある。	小さなはくり（径50cm未満）がある。
		③鉄筋の露出・腐 食	――	――	主鉄筋が大きく（幅50cm以上）露出したり、腐食したりしている。	主鉄筋が部分的に露出したり、腐食したりしている。
		④漏 水 遊離石灰	漏水があり、第三者に支障となっている。	――	漏水または遊離石灰の流出が著しく、主構造部の鋼材を腐食させている。	局部的に漏水、または遊離石灰の流失がある。

5 カルバート 判定の標準

カルバートの定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

注) 数値はおおよその目安を示している。

判 定		項目	A A	A	B
細目 区分	種別				
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト カ ル バ ー ト	—	①ひびわれ 角 落	コンクリートの欠落に結 びつく著しいひびわれなど があり、交通または第三者 に支障となる恐れがある。	ひびわれ（幅0.3mm以上） は角落があり、ひびわれ最 小間隔は、50cm未満である。	ひびわれ（幅0.3mm以上） があり、ひびわれ最小間隔 は、50cm以上 1 m未満であ る。
		②はくり 抜け落	はくりまたは抜け落があ り、さらに引続きその可能 性があり、第三者に支障と なる恐れがある。	大きなはくり（径50cm以 上）がある。	小さなはくり（径50cm未 満）がある。
		③鉄筋の露出 ・腐 食	—	主構造部分の主鉄筋が大 きく（長さ50cm以上）露出 したり、腐食したりしてい る。	主鉄筋が局部的に露出し たり、腐食したりしている。
		④空 洞 豆 板	—	主構造部分に大きな空 洞、または豆板がある。	大きな空洞、または豆板 がある。
		⑤漏 水 遊離石灰	漏水があり、第三者に支 障となっている。	漏水または遊離石灰の流 出が著しく、主構造部分の 鋼材を腐食させている。	局部的な漏水、遊離石灰 の流失があり、鋼材を腐食 させている。
		⑥沈 下 洗 掘	—	○著しい沈下があり、内部 水路または刈る場カルバ ート内が滞水している。 ○著しい沈下があり、取付 道路との接続部の路面に、 大きな段差が生じている。 ○ウイング周辺などが著し く洗掘されている。	○沈下により、内部水路機 能が低下している。 ○ウイング周辺などが洗掘 されている。
		⑦目地の異常	目地のずれ、開き、また は段差により、止水板など の落下があり、さらに引続 きその可能性があり、第三 者に支障となる恐れがあ る。	目地のずれ、開き、また は段差などがあり、止水坂 などの落下の恐れがある。	目地のずれ、開きまたは 段差などがある。
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト パ イ プ カ ル バ ー ト	—	①ひびわれ	—	全体的なひびわれがあ り、進展の恐れがある。	局部的なひびわれがある が、進展の恐れは少ない。
		②はくり	—	全体的なはくりがある。	局部的なはくりがある。
		③鉄筋の露出 ・腐 食	—	鉄筋が全体的に露出した り、腐食したりしている。	鉄筋が局部的に露出した り、腐食したりしている。
		④沈 下	—	大きな沈下により、通水 機能が著しく低下し、内部 に滞水がある。	沈下により通水機能が低 下している。
		⑤接続部の損 傷	—	接続部に開き、ずれ、ま たはわれなどが著しく生 じ、漏水がある。	接続部に開き、またはず れなどがある。
		⑥塵芥・土砂 などの堆積	—	排水機能が著しく低下 し、内部に滞水している。	排水機能が低下してい る。

判 定		A A	A	B	
細目 区分	種別 項目				
コ ル ゲ ー ト パ イ プ カ ル パ ー ト	—	①本体の損傷	—	本体に大きな変型または著しいひびわれなどがある。	本体に変型、またはひびわれなどがある。
		②腐 食	—	全体的に著しく腐食している。	局部的に腐食している。
		③沈 下	—	大きな沈下により排水機能が著しく低下し、内部に滞水がある。	沈下により排水機能が低下している。
		④接続部の損傷	—	接続部に開き、ずれ、またはわれなどがあり、著しい漏水がある。	接続部に開き、またはずれなどがある。
		⑤塵芥・土砂などの堆積	—	排水機能が著しく低下し、内部に滞水している。	排水機能が低下している。

6 交通安全施設 判定の標準

交通安全施設の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分	判 定		A A	A	B
	種別	項目			
防	ガードレール・ボックス・ガードパイプ	①本体の損傷	ビーム、パイプ、または支柱に著しい破損、脱落、または倒れなどがあり、交通に支障となっている。	ビーム、パイプ、または支柱に、広範囲な破損、変型、たわみまたは傾きなどがある。	ビーム、パイプ、または支柱に局部的な破損、変型、たわみまたは傾きなどがある。
		②附属物の損傷	——	取付金具、またはボルトに脱落、破損または切断などがあり、本体の脱落または破損の恐れがある。	取付金具、またはボルトに破損、変型、またはゆるみなどがあり、脱落または切断の恐れがある。
		③腐食	——	広範囲にわたり著しい腐食がある。	局部的に著しい腐食がある。
		④基礎部の損傷	——	支柱取付部アンカーに、脱落、切断、ゆるみ、または基礎周辺の著しい洗掘などがあり、本体の損傷の恐れがある。	支柱取付部アンカーに、著しい破損、または基礎周辺の洗掘などがあるが、本体の損傷の恐れは少ない。
護	ガードケーブル	①本体の損傷	ケーブルの破損、切断、または支柱の倒れなどがあり、交通に支障となっている。	ケーブル、または支柱に、広範囲な破損、たるみ、または傾きなどがある。	ケーブル、または支柱に、局部的な破損、たるみ、または傾きなどがある。
		②附属物の損傷	——	取付金具、またはボルトに脱落、破損、または切断などがあり、本体の脱落または破損の恐れがある。	取付金具、またはボルトの著しい破損、変型、またはゆるみなどがあり、脱落または切断の恐れがある。
		③腐食	——	広範囲にわたり著しい腐食がある。	局部的に著しい腐食がある。
		④基礎部の損傷	——	支柱取付部アンカーに、脱落、切断、ゆるみ、または基礎周辺の著しい洗掘などがあり、本体の損傷の恐れがある。	支柱取付部アンカーに、著しい破損、または基礎周辺の洗掘などがあるが本体の損傷の恐れは少ない。
柵	ブロックコンクリート	①ひびわれ 角 落	倒れ、または著しいコンクリートわれなどがあり、交通に支障となっている。	異常な傾き、またはコンクリートのわれなどがある。	——
眩光防止施設	眩光防止網・眩光防止板・遮光ネット	①本体の損傷	網、板、ネット、または支柱に脱落、または倒れなどがあり、交通に支障となっている。	網、板、ネット、または支柱に広範囲な、破損、変型または傾きがある。	網、板、ネット、または支柱に局部的な、破損、変型、または傾きなどがある。
		②附属物の損傷	——	取付金具またはボルトの脱落、破損、または切断などがあり、本体の脱落または破損の恐れがある。	取付金具またはボルトの破損、変型またはゆるみなどがあり、脱落または切断の恐れがある。
		③腐食	——	広範囲にわたる著しい腐食がある。	局部的に著しい腐食がある。

細目 区分	判 定		A A	A	B
	種別	項目			
中央 分離 帯 転 落 防 止 網	——	①本体の損傷	ネット、またはロープに、脱落または切断などがあり、第三者に支障となっている。	ネット、またはロープに広範囲な破損などがある。	ネット、またはロープに局部的な破損などがある。
		②附属物の損傷	——	取付金具、またはボルトに、脱落、破損または切断などがあり、本体の脱落または破損の恐れがある。	取付金具、またはボルトに、破損、変型、またはゆるみなどがあり、脱落または切断の恐れがある。
		③腐 食	——	広範囲にわたり著しい腐食がある。	局部的に著しい腐食がある。
落 下 物 防 止 柵	——	①本体の損傷	網、または支柱に、脱落、または倒れなどがあり、交通または第三者に支障となっている。	網、または支柱に、広範囲な破損、変型、または傾きなどがある。	網、または支柱に、局部的な、破損、変型、または傾きなどがある。
		②附属物の損傷	——	取付金具、またはボルトに、破損、またはゆるみなどがあり、本体の機能低下の恐れがある。	取付金具、またはボルトの破損、またはゆるみなどがあるが、本体の機能低下の恐れは少ない。
		③基礎部の損傷	——	アンカーボルトに、破損、またはゆるみなどがあり、本体の損傷の恐れがある。	アンカーボルトに、破損、またはゆるみなどがあるが、本体の損傷の恐れは少ない。
		④腐 食	——	広範囲にわたり著しい腐食がある。	局部的に著しい腐食がある。

7 交通管理施設 判定の標準

交通管理施設の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分		判 定		A A	A	B
種別	項目					
標 識	—	①本体の損傷	標識板または支柱に脱落、変型、または倒れなどがあり、交通に支障となっている。	○標識板、または支柱に変型、傾き、または著しい破損などがある。 ○反射シートのはがれ、汚れ、または塗装の劣化などにより文字、図形などの判読が困難である。	○標識板、または支柱に、局所的な変型、または破損などがある。 ○反射シートのはがれ、汚れ、または塗装の劣化などがあるが、文字、図形などの判読は可能である。	
		②附属物の損傷	—	取付金具、またはボルトに、脱落、切断または著しい破損などがあり、本体に脱落または破損の恐れがある。	取付金具、またはボルトに、破損、変型、またはゆるみなどがあり、附属物に脱落または切断の恐れがある。	
		③腐 食	—	広範囲にわたり著しい腐食がある。	局所的に著しい腐食がある。	
		④基礎部の損傷	—	支柱取り付け部アンカーに、脱落、切断、ゆるみ、または基礎周辺の著しい洗掘などがあり、本体の損傷の恐れがある。	支柱取り付け部アンカーに、著しい破損、または基礎周辺の洗掘などがあるが、本体の損傷の恐れは少ない。	
路 面 標 示	—	①トラフィックペイントの損傷	—	連続的なうすれ、消え、われ、または変色などがある。	局所的なうすれ、消え、われ、または変色などがある。	
視線誘 導標	—	①本体の損傷	反射体または支柱に、脱落、または倒れがあり、交通に支障となっている。	連続的な脱落、破損、または汚れなどがある。	局所的な脱落、破損、または汚れなどがある。	
距離標	—	①本体の損傷	板または支柱に、脱落、または倒れがあり、交通に支障となっている。	連続的な脱落、破損、または汚れなどがある。	局所的な脱落、破損、または汚れなどがある。	

8 その他の施設 判定の標準

その他施設(遮音壁、防雪施設、気象観測機器)の定期点検、臨時点検に用いる判定の標準

細目 区分		判 定		A A	A	B
		種別	項目			
遮 音 壁	遮 音 タ イ プ ・ 吸 音 タ イ プ	①本体の損傷	パネル、または支柱に、脱落、または倒れなどがあり、交通に支障となっている。	〇パネル、または支柱に、破損、変型、または傾きなどがあり、機能低下が認められる。 〇管理用扉などが開閉しない。	〇パネル、または支柱に、破損、変型、または傾きなどがあるが、機能低下は認められない。 〇管理用扉などの開閉がスムーズでない。	
		②附属物の損傷	——	取付金具、またはボルトに、脱落、破損、または切断などがあり、本体の脱落、または破損の恐れがある。	取付金具、またはボルトに、破損、変型、またはゆるみなどがあり、脱落、または切断の恐れがある。	
		③腐 食	——	広範囲にわたり著しい腐食がある。	局部的に著しい腐食がある。	
		④基礎部の損傷	——	支柱取付部アンカーに、脱落、切断、ゆるみ、または基礎周辺部に著しい洗掘などがあり、本体の損傷の恐れがある。	支柱取付部アンカーに、破損、または基礎周辺部に、洗掘などがあるが、本体の損傷の恐れは少ない。	
防 雪 施 設	雪 庇 予 防 柵 ・ 防 雪 柵	①本体の損傷	パネル、ネット、または支柱に、脱落、倒れなどがあり、交通の支障となっている。	パネル、ネット、または支柱に、広範囲な、破損、変型、または傾きなどがある。	パネル、ネット、または支柱に、局部的な、破損、変型、または傾きなどがある。	
		②附属物の損傷	——	取付金具、またはボルトに、脱落、破損、または切断などがあり、本体の脱落、または破損の恐れがある。	取付金具、またはボルトに、破損、変型、またはゆるみなどがあり、脱落、または切断の恐れがある。	
		③腐 食	——	広範囲にわたり著しい腐食がある。	局部的に著しい腐食がある。	
		④基礎部の損傷	——	支柱取付部アンカーに、脱落、切断、またはゆるみがあり、または基礎周辺部に著しい洗掘などがあり本体の損傷の恐れがある。	支柱に取付部アンカーに、破損があり、または基礎周辺部に洗掘などがあるが、本体の損傷の恐れは少ない。	
気 観 測 機 器	——	①機器の損傷	機器の損傷、または著しい腐食などがあり、機能を停止している。	——	——	
		②作業の異常	記録紙の巻き取り不良、記録用インクの切れ、記録時刻の不良、または針・雨水受け皿のごみづまりなどがあり、作動に異常がある。	——	——	
立 入 防 止 柵	ネットフェンス	①損 傷	フェンスが、倒れ交通に支障をきたしている。フェンスが破損して、人が出入り可能、または、その恐れがある。	フェンスが、倒れる恐れがある。ネット支柱が、著しく腐食している。鉄線が切れている。	フェンスが、腐食している。	

《 付 録 》

1. 年間点検工程計画書	—————	様式-1	—————	36
2. 点 検 表	—————	様式-2	—————	37
3. 点 検 調 書	—————	様式-3	—————	38
4. 点 検 報 告 書	—————	様式-4	—————	39

年 間 点 検 工 程 計 画 書

(令和 年度)

様式－1

道路名	
-----	--

確 認 印				

点検種別	区 別	細目区分	1／四半期			2／四半期			3／四半期			4／四半期			備 考
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
通常点検															
定期点検															
臨時点検															
その他 点検	排水ポンプ	ポンプ清掃 横断管清掃													

点検表(区分〇.〇〇〇〇)

様式-2

細目区分	種 別	項 目
	※ 対象構造物・点検項目（表－１）（Ｐ５）の区分毎に細目区分、種別、項目を記入すること。	

[illegible]

点検調書

(○ ○ 点 検)

令和 年 月

様式-3

区 分	事 務 所 名	道 路 名	判 定 区 分	
	〇〇〇〇〇〇〇〇管理事務所	〇〇〇〇〇〇〇線	AA A B OK	損傷が著しく、交通の安全確保、または第三者に対し、支障となつて いるかも知はその恐れがあり、緊急補修の必要のある場合
細 目 区 分	種 別	項 目		損傷が大きく、補修するかどうかの検討が必要な場合
(1)舗装	1)アスファルト舗装	①路上障害物 ②油、路面の汚れ ③ポットホール ④はがれ ⑤陥没 ⑥段差 ⑦磨耗(わだち掘れ) ⑧ひびわれ ⑨はくり ⑩滞水 ⑪縦断の凹凸コルゲーション ⑫経年劣化		損傷が小さいが補修するのかどうかの検討が必要な場合
				損傷がないが、あつても軽微で、補修する必要がない場合
(2)伸縮装置	1)切削目地	①本体の損傷 ②目地の損傷 ③異常音	処 置 方 針 (1)応急処置 (2)緊急補修 (3)臨時点検 (4)調 査 (5)観 察 (6)補 修	
	2)ゴムジョイント 3)鋼製ジョイント	①本体の損傷 ②後打材 ③段差 ④遊間の異常 ⑤異常音		
(3)縁石	1)アスファルト縁石 2)エコブロック縁石	①本体の損傷		

[illegible]

点検報告書

様式 - 4

年 度	整理番号 月・日 - No -	処 置 方 針	(1)応急処置 (2)緊急補修 (3)臨時点検	(4)調査重点 (5)観察点検対象 (6)補修構造物	区 間			上下別	位 置	処置月日	処置内容	
					区分						点検項目	判定
							細目 区分	種 別				

位置図

状況のスケッチ及び写真

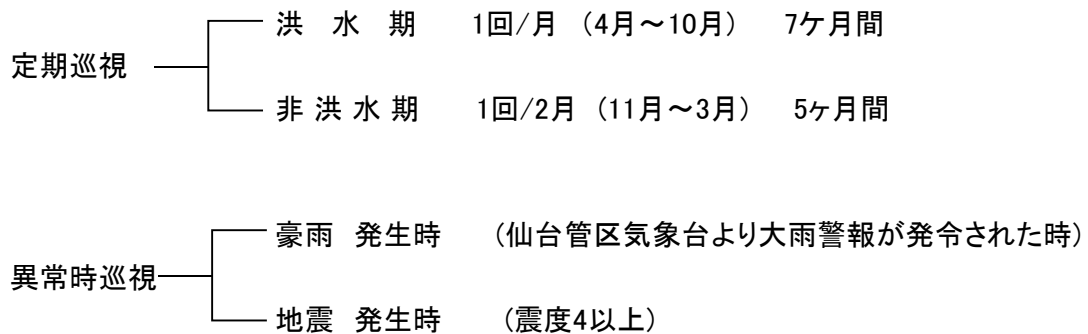
状況の概要

防災調整池管理規則(案)

1) 防災調整池の管理者

- ・ 工事中の管理は、工事施工会社がこの管理規則により管理をする。
- ・ 工事完了後の管理は、宮城県道路公社がこの管理規則により管理をする。

2) 巡視及び点検項目



◆点検項目

- ①調整池堤体の破損の有無
- ②調整池の排水状態確認
- ⑤調整池法面の崩壊の有無
- ④放流施設における呑口のゴミ堆積状況確認
- ⑤調整池内における堆砂量の確認

これらの点検事項を、巡視報告書に記載し管理する。

3) 調整池の維持管理

毎年(年2回)、調整池堤体の草刈りを行う。

出水後：出水により放流施設、呑口施設に堆積したゴミ、ヘドロ等は除去する。

出水により堤体等に異常が生じた場合は、早急に復旧する。

4) 出水時の監視体制

出水時は管理者が待機し、出水が収まるまで監視を続ける。

また、巡視中に出水が確認された場合は、調整池付近は勿論、流末水路、及び流末河川についても監視を行う。

防災調整池巡視点検報告書

巡視日	令和 年	巡視種別	定期 <input type="checkbox"/>	巡視者	
	月 日 ()		豪雨 <input type="checkbox"/>		
	天候:		地震 <input type="checkbox"/> (震度)		

点 検 項 目	調整池	異常の有無		異常箇所の概要	処 置 の 概 要
		有	無		
1 堤体破損	調整池A (上り線)				
	調整池B (下し線)				
2 貯水池法面崩壊	調整池A (上り線)				
	調整池B (下り線)				
3 貯水池内異常堆砂	調整池A (上り線)				
	調整池B (下し線)				
4 放流施設堆砂・ゴミ付着	調整池A (上り線)				
	調整池B (下り線)				
5 放流塔内障害物	調整池A (上り線)				
	調整池B (下し線)				
6 洪水吐内障害物	調整池A (上り線)				
	調整池B (下り線)				
7 放流塔亀裂等の異常	調整池A (上り線)				
	調整池B (下し線)				
8 洪水吐亀裂等の異常	調整池A (上り線)				
	調整池B (下り線)				
9 流末水路内の通水障害物	調整池A (上り線)				
	調整池B (下し線)				
10 その他()	調整池A (上り線)				
	調整池B (下り線)				
備 考					